

- 問1 平安時代末期に成立した平氏政権の特色について、その背景や仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 朝廷から征夷大將軍に任命された源頼朝が、鎌倉に幕府を開いて全国の武士を御家人として統制する仕組みを整えた。 | 2. 有力な戦国大名であった織田信長が、足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼし、実力によって天下統一を進める新たな支配体制を築いた。 | 3. 後醍醐天皇による建武の新政に反旗を翻した足利尊氏が、京都に幕府を開き、守護の権限を強めることで全国を支配した。 | 4. 後白河上皇に仕える武士勢力の中で台頭し、武士として初めて太政大臣となった平清盛が、一門で官職を独占して政治の実権を握った。 |
|--|--|--|--|
- 問2 平安時代末期、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った平清盛は、自身の経済的基盤を固めるために中国の王朝との貿易を推進しました。この時、貿易を円滑に行うために現在の神戸市に整備された港と、貿易の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|----------------|--------------|
| 1. 堺 ― 日明貿易 | 2. 長崎 ― 南蛮貿易 | 3. 大輪田泊 ― 日宋貿易 | 4. 那の津 ― 遣唐使 |
|-------------|--------------|----------------|--------------|
- 問3 平安時代に広く普及した浄土信仰が、当時の社会や文化に与えた影響についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 武士の台頭に伴い、厳しい修行によって自らの力で悟りを開こうとする禅宗が、国風文化の中心となった。 | 2. 朱子学が政治の理念として取り入れられたことで、仏教建築よりも儒教に基づいた道德教育が重視された。 | 3. 遣唐使の廃止によって大陸の文化が遮断されたため、仏教信仰は一時的に衰退し、日本独自の神道が主流となった。 | 4. 釈迦の教えが衰えるという末法思想への不安から、阿弥陀如来にすがって死後の救済を願う建築が各地に造られた。 |
|---|---|---|---|
- 問4 平安時代初期、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を開いた最澄と空海について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広め、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。 | 2. 最澄と空海は、遣唐使が停止された後に日本独自の国風文化を背景として、平仮名を用いた布教を行った。 | 3. 最澄は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広め、空海は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。 | 4. 最澄は阿弥陀仏にすがる浄土宗を、空海は座禅を重視する禅宗を、それぞれ平安京の市中で広めた。 |
|---|---|---|--|
- 問5 平安時代に藤原氏が権力を確立した「摂関政治」の仕組みについて、摂政という官職が果たした役割や背景を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2025年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| 1. 天皇が幼少である期間に、天皇に代わって国政全般の裁定を下し、実質的な統治権を行使した。 | 2. 成人した天皇の最高顧問として、天皇の決定に対して最終的な承認を与える権限を持った。 | 3. 地方の武士団を統制するために、天皇から軍事指揮の全権を委託された。 | 4. 仏教勢力の政治介入を防ぐため、宗教儀礼と政務を切り離して天皇を保護した。 |
|--|--|--------------------------------------|---|
- 問6 平安時代中期、藤原道長は自分の娘である彰子、威子、嬉子らを次々と天皇の后（きさき）にしました。このように、天皇の母方の親族として政治の実権を握る立場を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 外戚（がいせき） | 2. 執権（しゅけん） | 3. 守護（しゅご） | 4. 管領（かんれい） |
|-------------|-------------|------------|-------------|
- 問7 奈良時代、都にあった有力な寺院が政治に強く介入するようになった状況を打破し、天皇を中心とした政治の立て直しを目指して行われた出来事として最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 白河上皇が、院政を始めて有力な寺院を保護した。 | 2. 桓武天皇が、山背国（現在の京都府）の平安京へ都を移した。 | 3. 聖武天皇が、国ごとに国分寺や国分尼寺を建立した。 | 4. 後醍醐天皇が、鎌倉幕府を倒して天皇親政を復活させた。 |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
- 問8 平安時代の社会情勢をまとめた記録において、地方で荘園の整理や拡大が進み、貴族の邸宅で寝殿造が流行していた時期に成立した作品として正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|------------------|------------------------|
| 1. 鴨長明が乱世の無常を記した『方丈記』 | 2. 菅原道真が遣唐使の廃止を提案した際の『建議文』 | 3. 清少納言が記した『枕草子』 | 4. 山上憶良らが詠んだ歌を取めた『万葉集』 |
|-----------------------|----------------------------|------------------|------------------------|
- 問9 11世紀末、白河天皇が位をゆずって上皇となった後も、引き続き実権を握ることで始めた政治形態を何というか、次の中から選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 1. 封建制度 | 2. 院政 | 3. 執権政治 | 4. 摂関政治 |
|---------|-------|---------|---------|
- 問10 現在の京都府と滋賀県の境に位置する比叡山について、ここを拠点とした人物とその活動に関する記述として正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 行基が民衆への布教活動を行い、東大寺の大仏造立に協力した | 2. 最澄が延暦寺を建立し、天台宗の布教だけでなく、後に多くの名僧を輩出する修行の場とした | 3. 空海が金剛峯寺を建立し、密教の教えを体系化して真言宗を確立した | 4. 鑑真が唐から来日し、正しい戒律を伝えるために唐招提寺を建立した |
|---------------------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 白河天皇が始めた「院政」という政治体制の説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 1. 天皇が幼少のときに、母方の親戚である藤原氏が代わって政治を行う政治。 | 2. 天皇自らが政治の全責任を持ち、貴族の合議制を廃止して独裁的に進める政治。 | 3. 天皇の位を退いた人物が、天皇家の当主として摂政や関白の力を抑えて実権を握る政治。 | 4. 征夷大將軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地と武士を支配する政治。 |
|---------------------------------------|---|---|---|
- 問12 平安時代中期、藤原道長が一条天皇に対して強力な政治的影響力を行使できた背景について、当時の「摂関政治」の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 道長は一条天皇の叔父という立場にあり、さらに自身の娘である彰子を天皇の后として入内させることで、天皇と密接な血縁・婚姻関係を築いた。 | 2. 道長は一条天皇に代わって軍事指揮権を掌握し、武力を背景に平安京の治安維持を一身に担うことで、天皇の政治的発言権を奪った。 | 3. 道長は遣唐使の廃止を提案して大陸との外交を独占し、海外貿易で得た富を天皇に分配することで絶対的な忠誠を誓わせた。 | 4. 道長は一条天皇の住まいである里内裏を私費で建設し、経済的な援助を条件に、天皇が独断で政治判断を行うことを禁じた。 |
|---|---|---|---|
- 問13 平安時代末期の政治の流れをまとめた年表において、1156年の保元の乱に続いて「平氏が政治の実権を握る直接のきっかけとなった、1159年の出来事」に当てはまる名称として正しいものはどれか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 壬申の乱 | 2. 平治の乱 | 3. 応仁の乱 | 4. 承久の乱 |
|---------|---------|---------|---------|